

■株主メモ

決算期 3月31日
 定時株主総会 6月
 期末配当金支払株主確定日 3月31日
 中間配当金支払株主確定日 9月30日
 公告の方法 電子公告
 当社ホームページ(下記URL)に掲載
<http://www.jti.co.jp/>
※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 フリーダイヤル 0120-232-711
 (受付時間 土・日・祝日を除く 9:00~17:00)

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
 野村証券株式会社 全国本支店

各種手続用紙のご請求 住所変更、配当金振込指定・変更に必要な各用紙及び株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル(0120-244-479)で24時間承っておりますので、ご利用ください。

■株主優待商品発送のご案内

株主の皆様へ、昨年11月末にお届けいたしました株主優待商品(飲料製品詰め合せセット)につきまして、まだお手元に届かない株主様がいらっしゃいましたら、お手数ですが、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

JT株主優待事務局
 (商品発送代行：株式会社ジェイティクリエイティブサービス)
 フリーダイヤル 0120-791-187
 (受付時間 土・日・祝日を除く 9:00~17:00)

なお、株主優待商品につきましては、株主名簿に記載されておりますご住所あてにお届けいたしております。
 引越等により、ご住所に変更があった場合には、当社の株主名簿管理人であります三菱UFJ信託銀行又は、お取引の証券会社等へ速やかにお届出をお願いいたします。
 (住所変更のお手続きにつきましては、21ページをご参照ください。)

日本たばこ産業株式会社

〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル
 電話：03-3582-3111

<http://www.jti.co.jp/>



この業績報告書は森林保護につながるFSC認証紙(無塩素漂白)を使用するとともに、大豆インキを使用しています。



JT将棋日本シリーズ

業績報告書

CONTENTS

2008年3月期(2007年度)第3四半期決算のご報告

この人に煙草あり。／内田百閒

ニュース掲示板

特集

●海外たばこ事業のご紹介

JT商品のご案内

●ルーツ「カスタムブレンド プライムエッジ微糖」新発売

●「濃い桃の天然水」新発売

●ルーツ「アロマブラック 300gボトル缶」好評発売中

●「辻利」好評発売中

「taspo」いよいよスタート!!

JT将棋日本シリーズ

株式の諸手続きについて



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より当社の事業運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

私どもの子会社ジェイティフーズ(株)が販売する輸入冷凍食品の一部商品をお召し上がりになったお客様に、重大な健康被害が発生していますことに対しまして、JTグループを代表して、心より深くお詫び申し上げます。

さらに、健康被害を受けられた方々はもとより、お客様、お取引先様、関係ご当局的皆様はもちろんのこと、広く全国の皆様に、日々の暮らしの基本である「食の安全」について、多大なるご心配とご迷惑をおかけいたしておりますことを心よりお詫び申し上げます。

弊社におきましては、1月30日、中国、天洋食品の製造委託にかかる全製品の自主回収以降、全社を挙げた体制で、被害の拡大の防止、お客様のご不安への対応を最優先課題として、対応を継続しております。

また、現地調査や弊社による回収品の調査などの一層の促進を図るとともに、一刻も早く、原因究明ができるよう最大限の努力を継続しているところです。

今後は安全性保証体制の大幅な強化に向けて、抜本的な改善に取り組んでまいり所存ですので、株主の皆様におかれましても何卒ご理解・ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

当社にとって昨年は、国内たばこ事業におけるマイルドセブンの強化、グローバル・フラッグシップ・ブランドを中心とした海外たばこ事業の成長、医薬事業におけるR&Dパイプラインの充実、食品事業の着実な事業量拡大等、各事業とも順調な実績をあげることができました。これら自律的成長に加え、海外たばこ事業における英国ギャラハー社の買収、食品事業における(株)加ト吉の完全子会社化、調味料メーカーの富士食品工業(株)との業務提携等、中期経営計画「JT2008」で掲げた外部資源の獲得を通じた成長についても実現、あるいは具体化が進んでいます。

2008年は、国内たばこ事業において、会社化以降初となるシェア反転を目指し、海外たばこ事業については、一層の統合シナジーを実現してまいります。また、医薬事業については、引き続きR&Dパイプラインの充実・進捗を図り、食品事業については、冷凍食品事業、調味料事業の迅速な統合を推進し、「価値創造ビジネスを多角的に展開するグローバル成長企業」として、一層の企業価値増大に努めてまいります。

2008年2月12日
代表取締役社長

木村 宏

2008年3月期(2007年度)第3四半期決算のご報告

2008年3月期(2007年度)第3四半期決算の概要

2008年3月期(2007年度)第3四半期決算は表1をご覧くださいとおり、増収・増益となりました。

税込売上高については、国内たばこ事業における販売数量の減少があったものの、海外たばこ事業においてギャラハー社を連結したこと等により、前年同期比1兆668億円増収の4兆7,042億円となりました。

営業利益については、国内たばこ事業における原材料費及び販売促進費の増加等があるものの、海外たばこ事業においてギャラハー社を連結したこと等により、前年同期比933億円増益

の3,667億円となりました。

経常利益については、ギャラハー社買収に伴い増加した借入金や社債に係る支払利息の増及び為替差損の発生等により、営業外損益は悪化したものの、前年同期比510億円増益の3,271億円となりました。

また、四半期純利益については、成人識別自販機導入費用の増加、連結子会社の保有する投資有価証券の評価損の発生等があるものの、前年同期比268億円増益の2,203億円となりました。

■表1 2008年3月期(2007年度)第3四半期決算

(単位:億円)

	2007年3月期第3四半期	2008年3月期第3四半期	増減
税込売上高	36,374	47,042	10,668
税抜売上高	15,631	19,089	3,458
EBITDA*	3,711	4,862	1,151
営業利益	2,734	3,667	933
経常利益	2,760	3,271	510
四半期純利益	1,934	2,203	268

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

各事業の概要

国内たばこ事業

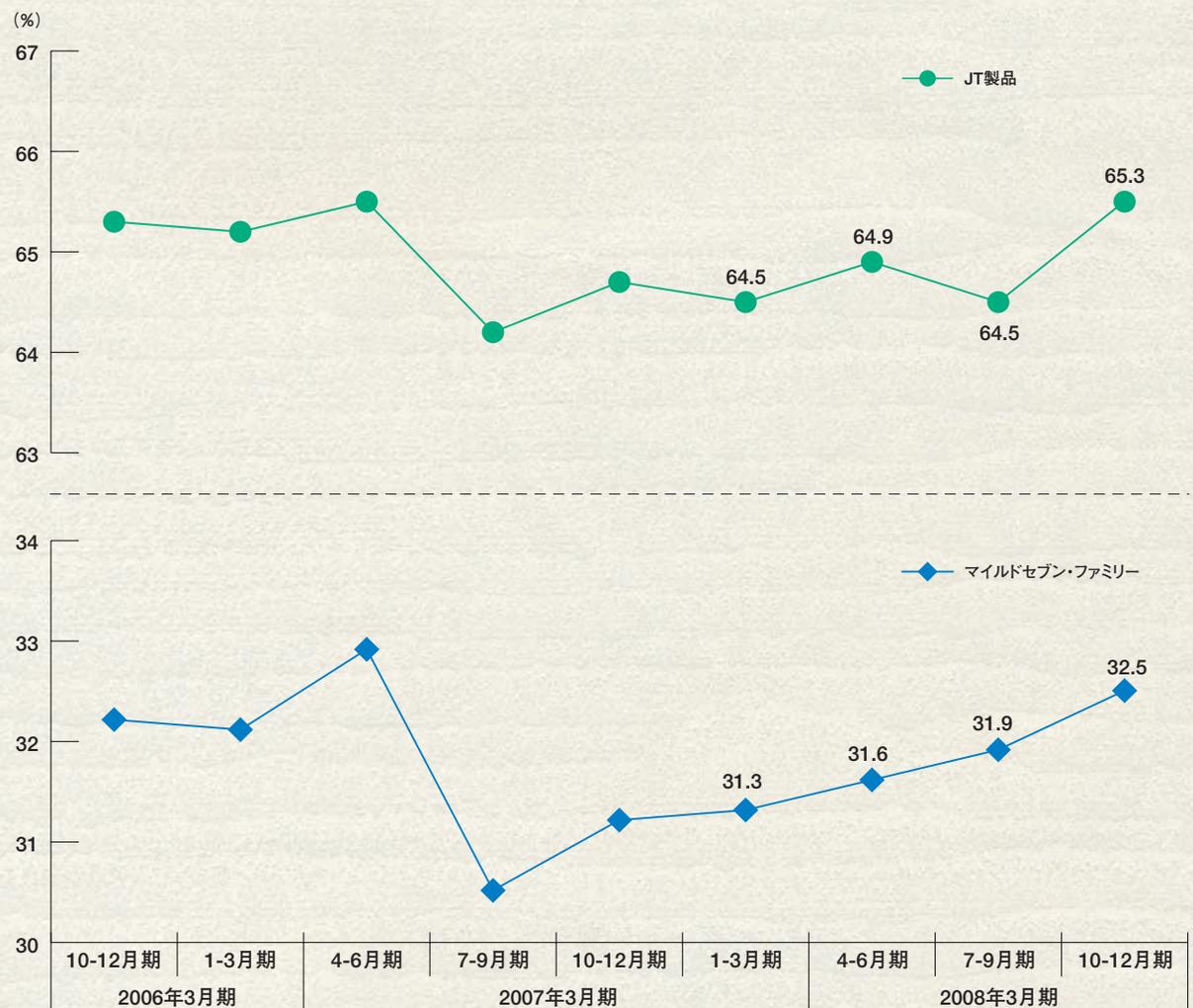
国内たばこ事業は、年度当初から取り組んできた市場シェアの反転について、明るい兆しが見えています。第3四半期のJTシェアは、第2四半期と比較し、0.8ポイント増の65.3%となりました。他社の10月の値上げに伴う仮需反動減の影響も一部あったと分析されますが、増加要因は主にマイルドセブン・ファミリーに引き続

き積極的な販促活動を実施したことに加え、「マイルドセブン・ディースベック・スーパーライト・ボックス」を全国発売したことなどによるものです。

マイルドセブン・ファミリーについては、シェアが引き続き好調に推移しており、第2四半期と比較し、0.6ポイント増の32.5%となりました。

以上の結果、JTシェアは第3四半期までの累計でも64.9%と、昨年度の実績をわずかながら上回っており、通期でのシェア反転を引き続き目指していきます。

■図1 JT製品及びマイルドセブン・ファミリーの市場シェア



マイルドセブンいごこち研究所 活動報告



「ビルボードライブ東京」を貸切り、200名のお客様をご招待しました



たばこお酒を愉しめる「大人のための特別試写会」いごこちful Preview 【東京会場レポート】

1月16日、東京ミッドタウン（東京都港区）内のジャズクラブ「ビルボードライブ東京」にて、「第4回・大人のための特別試写会」が開催されました。この試写会は、たばこを吸われる方に、たばこを愉しみながら公開前の映画『テラビシアにける橋』をご鑑賞いただくという企画。国内外の有名アーティストがライブパフォーマンスをする「ビルボードライブ東京」に、100組200名のお客様をご招待しました。また、会場では「マイルドセブン・ディースベック・スーパーライト・ボックス」をサンプリング。たばこの「嫌なにおい」が気にならないというディースベックの特徴も実感していただきました。上映後には、お客様から「リラックスしてたばこを楽しめました」「においが気にならず、とてもよかった」などの声が寄せられました。

「マイルドセブンいごこち研究所」とは？

マイルドセブン発売30周年を記念して、2007年5月に発足。世の中にあるいろいろな「いごこち」をマイルドセブン独自の視点で研究・開発し、お客さまにお届けするWebサイト上のバーチャル機関です。研究所の情報は随時更新中。詳しくはWebサイトをご覧ください。

URL www.m7-igocochi.com

※Webサイトをご覧いただくには、専用のIDとパスワードが必要です。IDとパスワードは成人喫煙者の確認をさせていただいた方に対してのみ発行しております。詳細はWebサイト（www.m7-igocochi.com）でご確認ください。

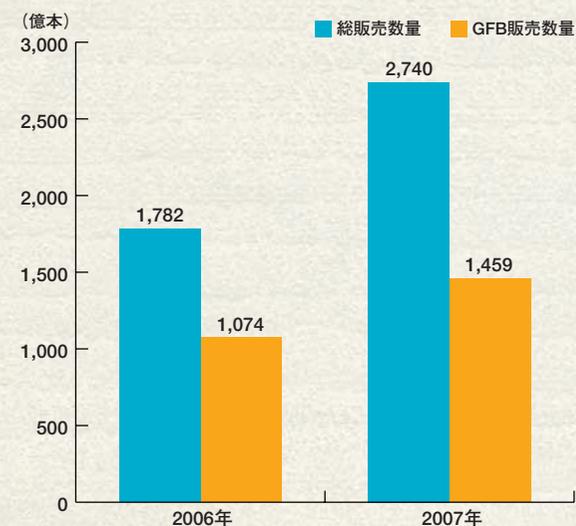


海外たばこ事業

海外たばこ事業の2007年1-9月期の販売数量は、ギャラハー社を連結したことに加え、「ウinston」がロシア、ウクライナ、スペイン、トルコで、「キャメル」がスペイン、フランス、イタリア、ロシアで伸張したことにより、前年同期に対し958億本増加し、2,740億本（前年同期比53.8%増）となりました。また、グローバル・フラッグシップ・ブランド（GFB）の販売数量は、1,459億本となりました。

※海外たばこ事業は2007年1-9月期を連結
※2007年1-12月期の実績速報については11ページをご覧ください。

■図2 1-9月期 販売数量実績



(注) 2006年GFB: Winston, Camel, Mild Seven
2007年GFB (2007年4月18日以降): Winston, Camel, Mild Seven, B&H, Silk Cut, LD, Sobranie, Glamour

医薬事業

医薬事業の開発状況としては、第2四半期までの成果に加え、第3四半期についても鎮痛

薬・過活動膀胱治療薬「JTS-653」が新規に臨床開発入りし、高尿酸血症治療薬「JTT-552」が国内でフェーズⅡにステージアップするなど、開発品の着実なステージアップとR&Dパイプラインの充実に努めています。

■ 医薬事業 臨床開発品目 (2008年2月7日現在)

開発名	開発段階	適応症	詳細	権利
JTT-705 (経口)	国内:Phase1	脂質代謝異常	HDL(高密度リポ蛋白:善玉コレステロール)中のコレステロールをLDL(低密度リポ蛋白:悪玉コレステロール)に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出(同社はPhase3移行を決定)
JTT-130 (経口)	国内:Phase2 海外:Phase2	高脂血症	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる高脂血症治療薬	
JTK-303 (経口)	国内:Phase1	HIV感染症	HIV(ヒト免疫不全ウイルス)の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害するインテグラーゼ阻害薬	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTT-302 (経口)	海外:Phase2	脂質代謝異常	HDL(高密度リポ蛋白:善玉コレステロール)中のコレステロールをLDL(低密度リポ蛋白:悪玉コレステロール)に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	
JTT-305 (経口)	国内:Phase2 海外:Phase1	骨粗鬆症	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する骨粗鬆症治療薬	
JTT-552 (経口)	国内:Phase2	高尿酸血症	腎臓における尿酸の再吸収に関与するURAT1の働きを阻害することにより、尿中への尿酸排泄を促進させ、血中尿酸値を低下させる高尿酸血症治療薬	
JTT-553 (経口)	海外:Phase1	肥満症	トリグリセリドの合成に関わる酵素であるDGAT1を阻害することにより、小腸からの脂肪の吸収及び脂肪組織での脂肪の蓄積を抑制する肥満症治療薬	
JTT-651 (経口)	国内:Phase1	2型糖尿病	グリコーゲン分解酵素であるGPの働きを阻害することにより、肝臓から血中への糖放出を抑制し、血糖を低下させる糖尿病治療薬	
JTK-652 (経口)	海外:Phase1	C型肝炎	HCV(C型肝炎ウイルス)の肝細胞への感染過程を阻害するC型肝炎治療薬	
JTS-653 (経口)	国内:Phase1	鎮痛、過活動膀胱	知覚神経に存在するTRPV1の働きを阻害することにより症状を改善する鎮痛薬・過活動膀胱治療薬	

前回(2007年10月31日)公表時からの変更点: JTS-653の国内臨床入り, JTT-552 国内臨床試験 Phase1からPhase2へ移行

食品事業

食品事業については、飲料事業における自動販売機販路を中心とした着実な拡大を図るとともに、基幹ブランドである「ルーツ」を中心に差別化を徹底的に追求した新製品等を積極的に開発・投入しました。加工食品事業においては

市販用冷凍食品のラインナップの充実・強化を図り、事業量の拡大及び収益力の強化に努めています。なお、当社は、2007年11月22日に株式会社加ト吉(以下「加ト吉」)及び日清食品株式会社(以下「日清食品」)との間で、当社の冷凍食品事業と日清食品の冷凍食品事業を加ト吉に移管し、3社における冷凍食品事業を統合することについて合意しました。

しかしながら、子会社であるジェイティフーズ(株)が輸入販売する冷凍食品に端を発した現下の情勢に鑑み、当該基本契約にかかる日清食品との関係を、3社合意の上、解消することを

決定しました。なお、当社は現在加ト吉株式を約94%保有していますが、この合意を受け、必要な手続きを経た上で、早い段階で100%子会社とする予定です。

2008年3月期(2007年度)業績予想

2008年3月期(2007年度)の業績予想については、海外たばこ事業における伸長、医薬事業における「JTT-705」に係るマイルストーン収入の計上、及び2008年1月8日以降の加ト吉グループ

の業績を取り込んだこと等から、税込売上高、EBITDA(営業利益+減価償却費)、営業利益を中間時見込から上方修正しました。

■表2 2008年3月期(2007年度)業績予想

(単位:億円)

	2007年3月期実績	2008年3月期業績予想 第3四半期時見込	増減	2008年3月期業績予想 中間時見込
税込売上高	47,693	64,100	16,406	63,600
EBITDA*	4,646	5,930	1,283	5,720
営業利益	3,319	4,220	900	4,050
経常利益	3,120	3,630	509	3,700
当期純利益	2,107	2,460	352	2,560

*EBITDA=営業利益+減価償却費

(注1)業績予想には加ト吉の買収に伴い発生する「のれん」の償却は織り込んでいない。

(注2)冷凍食品の一部自主回収の影響は織り込んでいない。

●将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実又は前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。又、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なもの

のとして、以下のような事項を挙げることができます(なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度末 (2007年3月31日)	当第3四半期末 (2007年12月31日)	増減金額
資産の部			
流動資産	1,840,808	1,299,122	△ 541,685
固定資産	1,523,855	3,751,012	2,227,157
有形固定資産	600,435	722,208	121,772
建物及び構築物	229,019	263,282	34,263
機械装置及び運搬具	152,900	213,690	60,789
土地	131,817	140,700	8,882
その他	86,698	104,535	17,837
無形固定資産	542,880	2,725,228	2,182,347
のれん	360,681	2,051,819	1,691,137
商標権	154,980	634,416	479,435
その他	27,218	38,991	11,773
投資その他の資産	380,538	303,575	△ 76,962
資産合計	3,364,663	5,050,134	1,685,471

ギアラハー社買収に伴い手元流動性(現預金+有価証券+現先)等が減少したためです。

ギアラハー社買収に伴い、のれん、商標権等が増加したためです。

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度末 (2007年3月31日)	当第3四半期末 (2007年12月31日)	増減金額
負債の部			
流動負債	813,196	1,588,082	774,886
固定負債	526,851	1,300,938	774,087
負債合計	1,340,047	2,889,021	1,548,973
純資産の部			
株主資本	1,920,159	2,088,088	167,929
評価・換算差額等	40,094	2,485	△ 37,609
少数株主持分	64,362	70,539	6,177
純資産合計	2,024,615	2,161,113	136,497
負債純資産合計	3,364,663	5,050,134	1,685,471

ギアラハー社買収に伴い有利子負債(短期借入金+社債+長期借入金)等が増加したためです。

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第3四半期 (2006年4月1日から 2006年12月31日まで)	当第3四半期 (2007年4月1日から 2007年12月31日まで)	増減金額
売上高	3,637,470	4,704,275	1,066,805
売上原価	2,930,596	3,821,389	890,792
売上総利益	706,873	882,886	176,013
販売費及び一般管理費	433,413	516,116	82,703
営業利益	273,459	366,769	93,310
営業外収益	17,425	19,040	1,615
営業外費用	14,858	58,709	43,851
経常利益	276,026	327,100	51,073
特別利益	41,048	39,346	△ 1,702
特別損失	13,241	23,841	10,599
税金等調整前四半期純利益	303,833	342,605	38,771
法人税、住民税及び事業税	106,533	116,832	10,298
法人税等調整額	—	—	—
少数株主利益	3,813	5,452	1,638
四半期純利益	193,485	220,319	26,833

国内たばこ事業における販売数量の減少等があったものの、海外たばこ事業においてギアラハー社を連結したこと等により増収となりました。

国内たばこ事業における原材料費及び販売促進費の増加等があるものの、海外たばこ事業においてギアラハー社を連結したこと等により、増益となりました。

ギアラハー社買収に伴い増加した借入金や社債に係る支払利息の増及び替差損の発生等により営業外損益は悪化したものの、増益となりました。

成人識別自販機導入費用の増加、連結子会社の保有する投資有価証券の評価損が発生したものの、増益となりました。

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

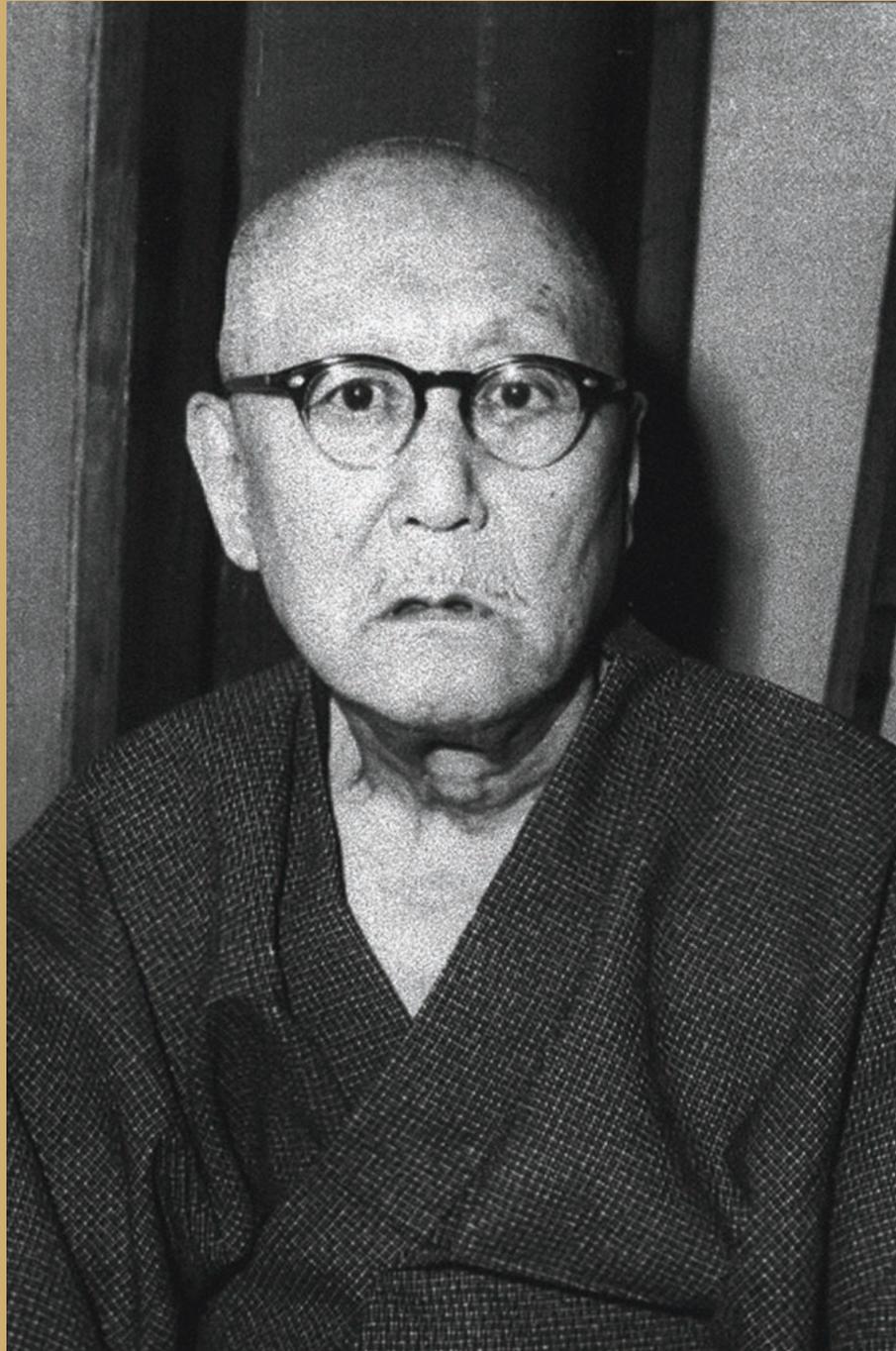
科目	前第3四半期 (2006年4月1日から 2006年12月31日まで)	当第3四半期 (2007年4月1日から 2007年12月31日まで)	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	349,869	207,696	△ 142,172
投資活動によるキャッシュ・フロー	20,378	△ 1,581,192	△ 1,601,571
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 29,400	420,257	449,658
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,033	33,659	30,625
現金及び現金同等物の増減額	343,880	△ 919,578	△ 1,263,459
現金及び現金同等物の期首残高	920,141	1,179,522	259,380
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,264,022	259,943	△ 1,004,078

たばこ事業によるキャッシュ・フローの創出力が、ギアラハー社が加わることによりさらに高まった一方、金融機関の休日の影響から前年同期の国内たばこ事業に係るたばこ税の支払額が当第3四半期に比べ1ヵ月分相当額少なかった一時的影響等によるものです。

主にギアラハー社株式を取得したことによるものです。

主にギアラハー社株式取得に係る資金調達を目的として、社債の発行及び金融機関からの借入を実施したことによるものです。

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



内田百間

夏 目漱石（1867～1916）から「訪問先では、主人のたばこに従え」という“たばこ道”を教わった内田百間。師の漱石に心酔していたが、何事にも「俺流」があり、それはちょっと変わっていた。

たとえば、借金の申し込みに、電車（三等ではなく、二等に乗る）や人力車で駆け付け、結果的に借金と同額の交通費をかけるのである。これには理由があって、「（借金を申し込みに行く）行き帰りの交通費にも事欠いていたので、やむなく」というのが、彼の弁だ。

勇気をふるって、師の漱石に借金を申し込んだときも、その後食事やビールをねだって、帰りの交通費をもらい、大金持ちになった気分、帰途についたという。

愛煙家の百間は、喫煙にも「俺流」があり、三種類の灰皿を用意していた。灰落とし用、吸い殻用、使用済みのマッチ用である。やはり自己流を貫いた山本周五郎（1903～1967）も、二種類の灰皿があったというので、“変わった人”共通のこだわりがあるのかもしれない。

こだわりといえば、徳川夢声

（漫談家、1894～1971）との間に、こんなエピソードがある。

お酒に酔った百間を、夢声が自宅まで送ったときのこと。百間は、玄関に「面会謝絶」と掲げるほどの来客嫌いであったが、このときは夢声に家に寄るようにすすめ、固辞する夢声を「五分でよいから」といって強引に家にあげる。夢声も夢声で「それでは」とびったり五分でいとまを告げて帰宅する。すると、すぐに居ずまいを正した百間が、夢声宅を訪ねてきて「人の家に来て、お茶も飲まずに帰るなど失礼」と苦言を呈するのである。夢声から詫言の言葉を聞いた百間が帰ろうとしたところ、今度は夢声が「人の家に来て、お茶も飲まずに帰るのは無礼」と言い、百間は夢声宅にあがり、夢声があわてて買って来たぬるいビールを飲んだ、というのである。

百間によると、夢声が大切な友人だからこそ、こだわった礼儀ということらしい。

自ら奇人と称していた夢声に、「百間先生には、かなわない」と言わしめた一件である。

『グレート・スモーカー 歴史を変えた愛煙家たち』（祥伝社新書）より一部転載
写真提供 共同通信社

何をするにも「俺流」解釈
大切な友人“への礼儀とは？

Hyakken Uchida
(1889年 - 1971年)

1889年 岡山県岡山市の造り酒屋の一人息子として生まれる
1922年 処女作品集『冥途』刊行
1933年 随筆集『百鬼園随筆』刊行、ベストセラーとなる
1950年 大阪旅行の体験をもとに、小説『特別阿房列車』執筆
1967年 芸術院会員に推薦されるが、「イヤダカラ、イヤダ」と辞退

内田百間——小説家、随筆家。東京帝国大学独文科卒。陸軍士官学校、海軍機関学校、法政大学でドイツ語教授を勤めた後、作家活動に入る。夏目漱石の門下生。代表作『阿房列車』。本名は内田栄造。

2007年 海外たばこ 事業実績



「海外たばこ事業実績説明会」の様子



2008年2月8日、JTアートホール「アフィニス」において、機関投資家向けに「海外たばこ事業実績説明会」を開催し、ピエール・ドゥ・ラボシエール (Pierre de Labouchere) JTI国際社社長兼CEO並びに新員JTI国際社副社長兼CFOが2007年の実績および2008年の見込みについて説明しました。プレゼンテーションの要約は以下の通りです。なお、内容は全て速報値となっています。
(プレゼンテーション資料は、JTのホームページでご覧になれます <http://www.jti.co.jp/JTI/IR/briefing.html>)

●JT国際社2007年(1-12月)実績速報

2007年の総販売数量は2006年に比べ60.6%増加し、3,856億本となりました。これは、ギャラハー社の買収効果に加え、旧JT国際社の好調な業績の推移によってもたらされました。
グローバル・フラッグシップ・ブランド (以下

「GFB」)^{*1}販売数量は40.0%増加し、2,032億本となり、総販売数量の53%を占めました。
税抜売上高は42億5千万ドル増加し、およそ90億ドルとなりました。
EBITDA^{*2}は24億ドルを超え、2006年の11億ドルと比較しても際立った結果といえます。

■表1 2007年実績 (速報値)

	2006年	2007年	増減	
販売数量	2,401	3,856	1,455	60.6%
GFB販売数量	1,452	2,032	580	40.0%
税込売上高	8,590	22,405	13,815	160.8%
税抜売上高	4,729	8,979	4,250	89.9%
EBITDA ^{*2}	1,090	2,428	1,338	122.7%

(単位: 億本)
(単位: 百万ドル)

(注) 2007年の販売数量および財務数値は2007年4月18日以降のギャラハー社分を含む。

GFB(2000-2006年): Winston, Camel, Mild Seven

GFB(2007年): Winston, Camel, Mild Seven, Benson & Hedges, Silk Cut, LD, Sobranie, Glamour

^{*1} 海外たばこ事業を牽引する中核ブランド: 「Winston」、「Camel」、「Mild Seven」、「B&H」、「Silk Cut」、「LD」、「Sobranie」、「Glamour」

^{*2} 営業利益+減価償却費

●市場群別 販売数量・売上高概況

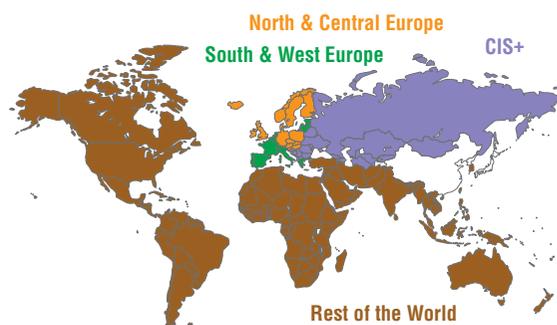
JT国際社 (以下「JTI」) のビジネスを大きく4つに分けると、ギャラハー社の買収以前はJTIのプレゼンスがほとんど無かった「North & Central Europe」、ギャラハー社

とJTI双方が大きなプレゼンスを保持し、両者の統合により更に力を発揮できる「CIS+」、「South & West Europe」、現時点では統合の影響がほとんど無い「Rest of the World」です。

「North & Central Europe」は、2007年の総販売数量ベースでは10%ですが、総売上高ベースでは5分の1を占めています。この地域はギャラハー社が優位な市場で構成されており、買収により大きな成果があったエリアです。また、利益率の高い市場で構成され、JTIは主要市場においてリーディングポジションにあるという特徴があります。

「CIS+」は、JTIの総販売数量の51%を占めています。この地域は数量、利益双方の成長の鍵となる地域です。しかしながら、総売上高に

■図1

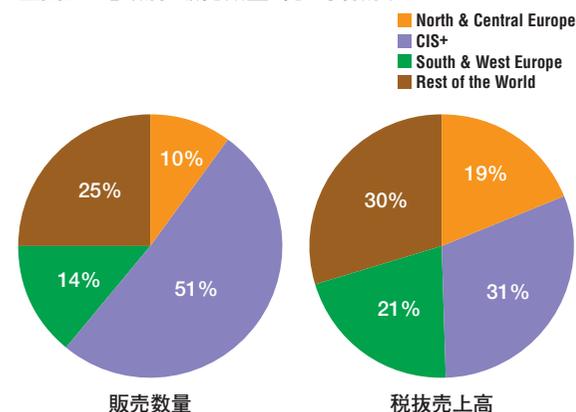


占める「CIS+」の比率は未だ31%に過ぎず、JTIはこの地域に今後の成長の大きな機会があると考えています。

JTIのポジションは利益率の高い市場である「South & West Europe」においても強化されました。この地域の販売数量は全体の14%、売上高は全体の21%を占めています。

「Rest of the World」は、アメリカ、アジア、アフリカ、中東といった、様々な地域から成っており、総販売数量の25%、総売上高の30%を占めています。

■図2 地域別 販売数量・売上高概要



●GFBポートフォリオの拡張

ギャラハー社買収は、GFBの拡張を可能としました。新しく加わった5つのブランドは、Winston, Camel, Mild Sevenといった既存のブランドを補完し、そして新しいJTIのポートフォリオにおいてそれぞれ異なる役割を果たしています。

WinstonとCamelはJTIの成長のエンジンです。この2ブランドの合計販売数量は、2007年には17%成長しました。

Mild Sevenは高いプレゼンスをアジアで誇っており、Benson & Hedges, Silk Cutは主要ヨーロッパ市場で確固たる地位を築いています。

LDは、新興市場において、上位価格帯に転移するお客様を捕捉する、比較的価格の低いセグメントでの戦略を担うブランドです。

Sobranieは、最高価格帯セグメントにおいて、

また、Glamourはスーパースリムセグメントにおいて、それぞれポートフォリオを強化するブランドです。これら2つのブランドには、将来の大きな可能性があります。

これらの8つのブランドが今後の売上成長を支えていくことになると考えています。

■図3

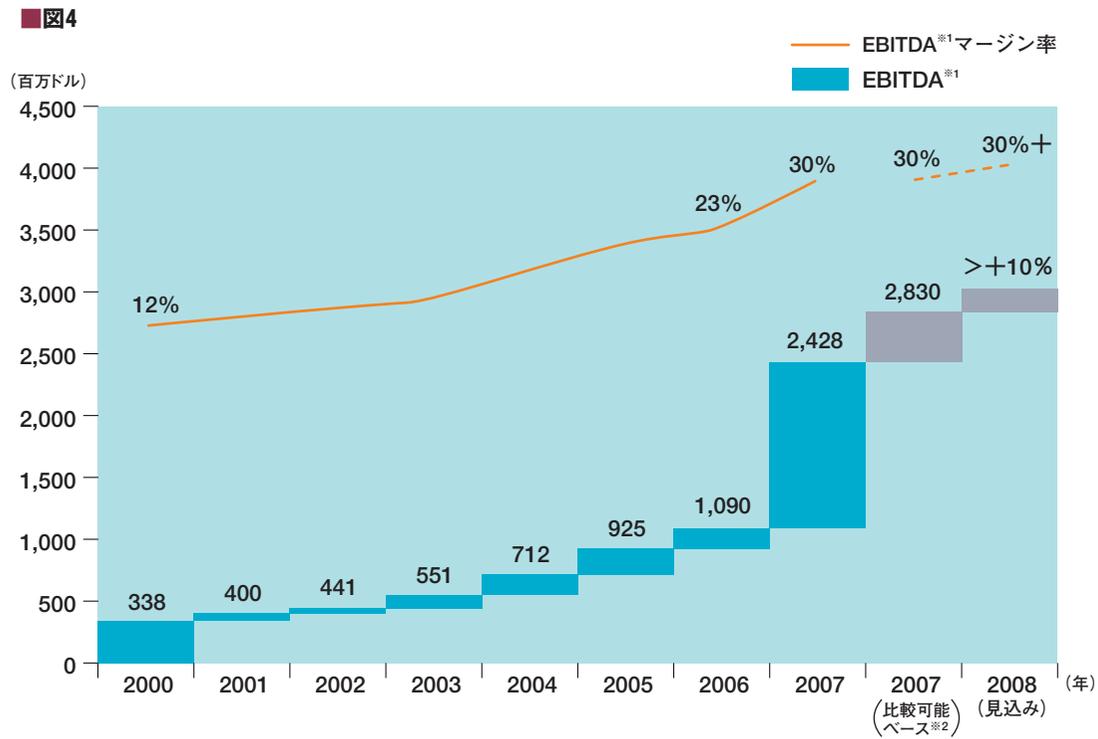


●継続的な改善を通じた成長の実現

2006年のEBITDA^{*1}が11億ドルであったのに対し、2007年は24億ドルと、JTIの利益はこの1年間で2倍以上になりました。

2007年のギャラハー社の連結を、買収期日からの8.5ヵ月分ではなく、12ヵ月分連結したと仮定した場合、JTIのEBITDA^{*1}は28億3千万ドルと試算できます。

JTIは、この比較可能ベースである28億3千万ドルを起点とし、今後3年間、年率10%を超えるEBITDA^{*1}成長を目指します。これまでの力強い業績同様、強化された新たな事業基盤の活用により、今後ともJTグループの利益成長の牽引役であり続けます。



※1 営業利益+減価償却費
 ※2 ギャラハー社の連結を、買収期日からの8.5ヵ月分ではなく、12ヵ月分連結したと仮定した場合



海外における社会貢献活動



JTグループの海外における社会貢献活動は、海外子会社であるJTインターナショナル(JTI)が中心的な役割を果たしています。

JTインターナショナル (JTI) の取り組み

JTグループの海外子会社であるJTIにとって、社会貢献活動は事業を行なうそれぞれの地域社会への責任として不可欠な要素となっています。JTIでは、JTグループの社会貢献活動の基本方針に沿った活動方針とガイドラインを定め、全社で共有しています。この方針は、「良き企業

市民」であることを実践するうえでの基本方針となっています。

JTIは、現在事業を行っている全ての地域で社会貢献プログラムを推進しており、その数は全世界で60以上にのぼります。

社会福祉



シニア・プロジェクト (ルーマニア)

1998年に開始したJTIルーマニアによる高齢者支援活動では、毎日の食事のほか、イースターやクリスマスには特別メニューを提供しており、市及び商工会議所から毎年表彰されています。



オールド・ファイブ・オールド財団 (台湾・台中、鹿港)

JTI台湾は、高齢者支援を目的としている内政部公認の財団「オールド・ファイブ・オールド財団」の、数百人の高齢者を対象に温かい食事をお届けする「食事宅配サービス」に資金を提供しています。

文化・芸術



イズミール国際ジャズ・フェスティバル (トルコ・イズミール)

JTIトルコは、地域社会の文化・芸術活動において重要な役割を果たしており、2002年より「イズミール国際ジャズ・フェスティバル」のメインスポンサーとなっています。

被災地支援



ジョグジャカルタの地震 (インドネシア)

JTI財団は、2006年初夏のジョグジャカルタ地震の際、マレーシアの医療救援チームに資金を提供し、地震の被災者に緊急救援を行いました。また、医師団チームが現地で被災者の支援にあたりました。

●成人識別ICカード

taspo タスポ

いよいよスタート!!

● たばこの自動販売機が変わります ●

未成年者喫煙防止の一環として、全国のたばこ自動販売機は2008年3月より順次、「成人識別たばこ自動販売機」になり、自動販売機でたばこを購入する際には、成人識別ICカード「taspo(タスポ)」が必要になります。

●「taspo」とは?

「taspo」は(社)日本たばこ協会が成人のみに発行するICカードで、自動販売機でたばこを購入される際に「taspo」をタッチしていただくことにより、成人であることを確認するためのものです。「成人識別たばこ自動販売機」導入後は、「taspo」がないと自動販売機でたばこをご購入いただけません。

「taspo」という名称には「たばこのパスポート」という意味が込められており、成人識別ICカードとしての機能のほか、自動販売機でチャージでき、たばこ購入に利用できる電子マネー機能「ビデル」が搭載されています。

●電子マネー「ビデル」

「ビデル」とは、「タスポ」に搭載されている電子マネーの名称です。電子マネーは、あらかじめお金の情報をカードを介してセンターに記録(チャージ)することで、自動販売機におけるたばこ購入代金の支払いに使用できます。



Q&A

Q1 なぜ、成人識別を導入することになったのですか?

A1 未成年者による自動販売機でのたばこ購入の防止は、社会的に重要な取り組みとなっており、たばこ業界としての社会的責任を果たすことが必要です。そこで、従来から取り組んでいる未成年者喫煙防止対策の強化・充実の一環として、全国のたばこ自動販売機を対象に成人識別対応を図ることになりました。

Q2 なぜ顔写真が必要なのですか?

A2 顔写真をカードに載せることで、カード保有者への帰属性が高まり、紛失・貸与の防止効果も期待できます。なお、写真はカラーでもモノクロでも構いません。

Q3 発行手数料や年会費はかかるのですか?

A3 いずれも無料です。ただし、再発行については費用を負担いただく場合があります。

Q4 個人情報の管理は大丈夫なのですか?

A4 お客様のお名前、生年月日、住所、電話番号などの個人情報は、個人情報保護法及び関係するガイドラインにもとづいて日本たばこ協会が保護・管理し、流出防止対策に万全を期しています。

Q5 taspoカードを失くした場合はどうしたらいいですか? また、電子マネー「ビデル」の残高はどうなるのですか?

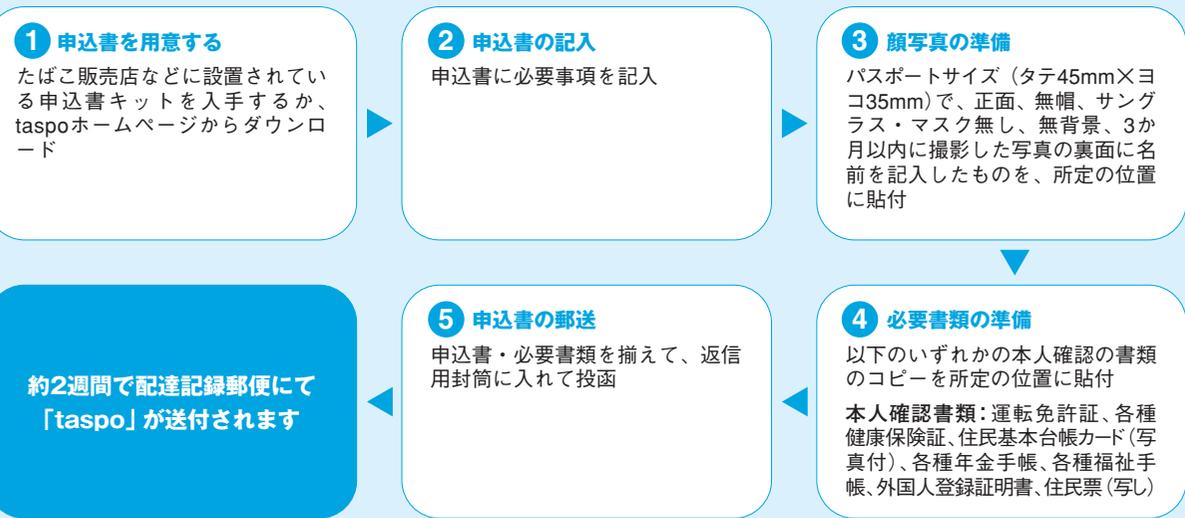
A5 下記「taspoダイヤル」までご連絡ください。カードの不正利用防止のため、現在のカードを停止した上で、新しいカードを再発行します。また、電子マネー「ビデル」の残高は、再発行したtaspoカードに移行します。

●taspoダイヤル

受付時間 9:00~17:00 (土日祝日除く)
0120-222-180 (通話料無料)
携帯電話からは 0570-012-340 (通話料有料)
PHS・IP電話からは 011-330-3201 (通話料有料)

詳しくはホームページをご覧ください ▶ <http://www.taspo.jp>

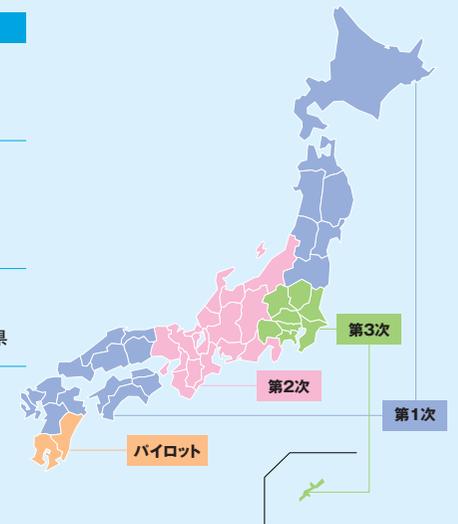
●カードが発行されるまで 「taspo」の申込書を(社)日本たばこ協会へご郵送いただくことでお申し込みいただけます。



●「taspo」導入スケジュール お申込み・稼働開始時期は、地域によって異なります。

	申込み開始	識別稼働開始	対象都道府県
パイロットエリア	2007/12	2008/3	鹿児島県 宮崎県
第1次エリア	2008/2	2008/5	北海道 青森県 岩手県 秋田県 宮城県 山形県 福島県 鳥取県 島根県 広島県 岡山県 山口県 香川県 徳島県 愛媛県 高知県 福岡県 佐賀県 長崎県 大分県 熊本県
第2次エリア	2008/2	2008/6	新潟県 長野県 富山県 石川県 福井県 静岡県 愛知県 岐阜県 三重県 滋賀県 京都府 大阪府 奈良県 兵庫県 和歌山県
第3次エリア	2008/2	2008/7	茨城県 栃木県 群馬県 山梨県 埼玉県 千葉県 神奈川県※ 東京都 沖縄県

※神奈川県は2007年12月に申込開始、2008年7月に識別稼働です。



将棋で「ココロ」を育てたい。

JT将棋日本シリーズ

こども大会／プロ公式戦

『JT将棋日本シリーズ』は、“将棋で「ココロ」を育てたい。”を大会テーマに、「こども大会」と「プロ公式戦」を2本柱として開催しています。2007年度も全国11会場で熱戦が展開されました。



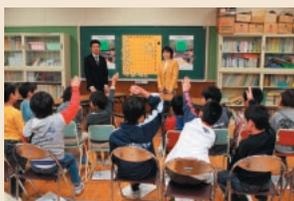
「こども大会」は、こどもたちによる将棋大会や、プロ棋士による指導対局が開催され、将棋のルールを知っている小学生以下なら誰でも参加できる大会（事前申込制）です。決勝対局は、羽織・袴を着用し、「プロ公式戦」と同じ対局場にて、同じ盤と駒を使用。さらに、読み上げと記録係がつき、同じ進行の大盤解説があるステージで将棋を指します。

「プロ公式戦」は、(社)日本将棋連盟が主催する唯一の全局公開対局の公式棋戦として開催され、将棋界を代表するトップ棋士12名が持ち時間10分という超早指しのルールのもと対局。将棋ファンの目の前でプロ棋士の真剣勝負が繰り上げられます。

2007年度の『JT将棋日本シリーズ』

こども将棋教室を開催

『JT将棋日本シリーズ』の開催地区にて、対局棋士や出演棋士が、小学校または児童館などを訪問し、将棋教室を開催してこどもたちに直接指導を行いました。



こども大会とプロ公式戦を同日・同会場で開催

こどもたちが指して学ぶ「こども大会」と、一流のプロ棋士の対局を観て学ぶ「プロ公式戦」を、より一体感のある大会にしたいという思いから、5地区において、同日・同会場で開催。「こども大会」と「プロ公式戦」を一日で楽しんでもいただきました。

優勝賞金を増額

(社)日本将棋連盟が開催する唯一の全局公開対局のプロ公式棋戦を、より魅力ある棋戦として観戦いただけるよう、優勝賞金を350万円から500万円に増額しました。

震災復興支援のための義援金募集活動

地震で被災された方々への支援活動の一助となればとの思いから、能登半島地震と新潟県中越沖地震によって被災された方々への支援のために、開催した全11地区の会場で義援金募集を行いました。各会場では義援金募集のほか、プロ棋士による直筆サイン入り色紙のチャリティー販売なども行われ、シリーズ終了までに寄せられた義援金総額は303万1586円。2007年12月10日に石川県、新潟県の各県庁で行われた義援金の贈呈式には、今大会の優勝者である森下卓JT杯覇者も出席し、両県にそれぞれ151万5793円が贈呈されました。



こども大会

北は北海道から南は熊本県まで、2007年度の『JT将棋日本シリーズこども大会』に参加していただいたこども棋士は合計約5,400名。ブロック対局や「プロと遊ぼうコーナー」など、さまざまなコーナーでおもいきり将棋を楽しみました。



プロと同じステージに上がり、いざ決勝!



礼儀正しさを、思いやり、悔しさ…。将棋を通して学ぶことはたくさん!



本年度の「こども大会」をしめくくる東京大会では、「低学年の部門」「高学年の部門」合わせて約1,600名のこども棋士が、会場の東京ビッグサイトに集まりました。本戦を勝ち抜いて決勝に進んだ4名は、羽織・袴姿でプロ公式戦と同じステージへ。観客の皆さんに見守られる中、大人顔負けの白熱した戦いを展開しました。



プロ公式戦

プロ公式戦は、一回戦第一局から決勝戦まで、全国11会場で全対局を公開対局で実施。出場棋士12名による一番勝負のトーナメント戦によって優勝を決定しました。決勝に進出したのは森内俊之名人と森下卓九段。東京会場で行われた決勝戦では、大熱戦の末、森下九段が勝利をおさめ、木村社長からJT杯が贈られました。



98手にて森下九段が初優勝!
「出場するだけでも大変な棋戦なので、優勝できて自分自身驚いています」
(森下九段)

詳しくはホームページ(<http://www.jti.co.jp/JTI/shogi/>)をご覧ください。

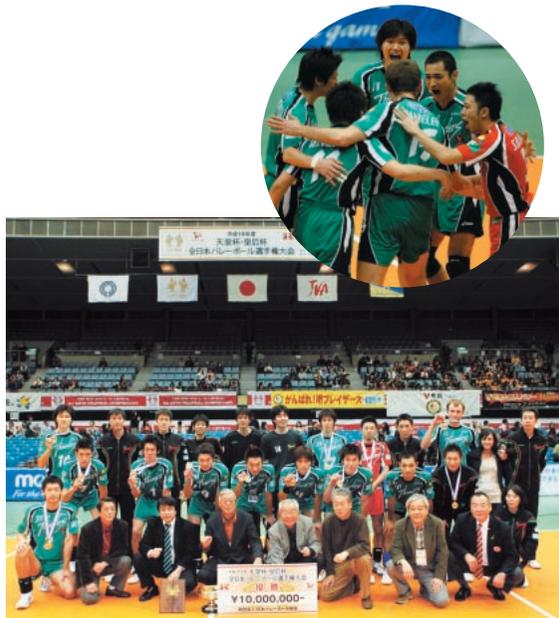
男子バレーボールチーム・JTサンダーズ 「天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会」で優勝

2008年1月6日、とどろきアリーナ（神奈川県川崎市）で「天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会」の決勝が行われ、男子はJTサンダーズが堺ブレイザーズを下し、日本一の栄冠と優勝賞金1000万円を獲得しました。

「天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会」は今年から開催された大会で、V・プレミアリーグチーム（男子8チーム、女子10チーム）と、中学生以上のチームの中から全国の予選を勝ち抜いた精鋭、男女各16チームが対戦し、真の日本一を決定するものです。

1月2日のセミファイナルラウンド2回戦から出場したJTサンダーズは若手主体の布陣で臨み、立命館大学にセットカウント3-1で勝利を収めます。V・プレミアリーグ同士の対戦となった3回戦では、豊田合成トレフェルサをセットカウント3-1で、準決勝では大分三好ヴァイセアドラーをストレートで下し、決勝戦進出を決定。堺ブレイザーズとの決勝戦はフルセット

に及ぶ激闘となりますが、チームの力を結集して勝利をつかみ、初代王者に輝きました。



チーム一丸となって初代王者の座をつかんだJTサンダーズ

“突き刺さる、強メンソール。” 「セブンスター・ライト・メンソール」1都8県にて限定発売

JTは、セブンスターファミリーから、セブンスターメンソールシリーズでは初めてソフトパックを採用した新製品「セブンスター・ライト・メンソール」を、2月上旬より東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、群馬県、栃木県、沖縄県、山梨県の1都8県で発売しました。

セブンスターファミリーは、1969年に発売され、現在においても国内第2位の販売実績を誇る「セブンスター」を中心に全9銘柄のラインナップにて展開しており、日本でも屈指のメジャーブランドです。近年においても、嗜好の低タール化が進む中において、高タール製品を主

力銘柄とし、BOX製品、メンソール製品の投入等により、当社ではマイルドセブンに次ぐ主力ブランドとなっております。

このたびセブンスターファミリーから登場した「セブンスター・ライト・メンソール」は、セブンスターメンソールシリーズの特徴である強いメンソール感としっかりとした吸い応えが同時に楽しめる、タール7mg製品です。

「セブンスター・ライト・メンソール」
タール値：7mg/本
ニコチン値：0.6mg/本
価格：300円（20本入り）
フィルタータイプ：プレーンフィルター

JT商品のご案内

ルーツ「カスタムブレンド プライムエッジ微糖」

165g/115円
(希望小売価格 消費税別)

新発売



- サンドライ（天日乾燥製法）豆を使用し、力強い香りとすっきりした味わいをルーツ独自の「新じっくり焙煎」で引き出しました。微糖ながら、隠し味の海洋深層水でコクもしっかり。砂糖の吸収を抑えるといわれる甘味素材「L-アラビノース」を用いた、体にうれしいコーヒーです。
- どの方向から見てもデザイン面が見える、こだわりの360°デザイン缶です。

体にうれしい糖分79%カット!

※コーヒー飲料等通常品（7.5g/100ml）に比べ

ルーツ「アロマブラック 300gボトル缶」

300gボトル缶/130円
(希望小売価格 消費税別)

好評発売中



- 広口ボトル缶ブラックコーヒーのパイオニアとしてご好評をいただいている、ルーツ「アロマブラック」が、従来の焙煎を進化させた「新じっくり焙煎」で、豊かなコクはそのままに、さらに香ばしいアロマを高めました。
- ブラックとシルバーを基調とした「シンプル」で「高級感」のあるデザインを更に進化させ、赤のアクセントで芳醇なコーヒー感を印象づけます。

香り豊かな淹れたての味わい!

濃い桃の天然水

500mlペットボトル/150円
(希望小売価格 消費税別)

新発売



- 「桃の天然水」の濃い味バージョンとして、「天然水」に桃のピューレを加え、まろやかな濃い味に仕上げました。桃本来の濃厚な味わいでありながら、甘さはすっきり。期間限定発売の果汁飲料です。
- 桃の味を想像できるような色合いで、オリジナルの「桃の天然水」よりも濃い味であることを表現しています。
※コンビニエンスストア限定販売

おなじみ「桃天」が濃い味になって登場!

辻利

280mlペットボトル/115円
500mlペットボトル/140円
2.0Lペットボトル/330円
(希望小売価格 消費税別)

好評発売中



- 創業萬延元年（1860年）、京都宇治の老舗「辻利一本店」との提携により生まれた、本格緑茶「辻利」。京都宇治で受け継がれてきた繊細で上質な『茶葉本来の味が活かした品の良い味わい』に仕上げました。
- 切断した竹をモチーフとして、従来にはない『斬新』なデザインに仕上げました。

繊細で上質な「品を楽しむ」本格緑茶

株式の諸手続きについて

●名義書換をするには？

株式を購入されたり、株券保管振替制度のご利用を取り止められた時には、お早めに名義書換の手続きをお取りください。名義書換の手続きがお済みでない場合には、株主総会の招集ご通知をはじめとした各種発送物がお手元に届かないばかりでなく、配当金等のお支払いについても以前の名義の方に支払われることとなります。

◎名義書換の手続き

①三菱UFJ信託銀行(株)又は野村證券(株)にお越しいただく場合

三菱UFJ信託銀行(株)の本店又は野村證券(株)の本店へ、株券と印鑑(お届出印となります)をご持参ください。その場で名義書換請求書にご記入いただき、一旦株式をお預かりして手続きをさせていただきます。手続きが終了し、お手元に株券が戻るまでには10日前後かかります。**書換手数料は不要です。**

②他の証券会社を通じて行う場合

上記以外では、証券会社でも名義書換を依頼することができます。必要なものは上記と同じですが、**書換手数料がかかります**、また場合によっては**手続きに時間がかかることもあります**ので、**手数料額・所要日数等詳しくは当該証券会社におたずねください。**

③郵便をご利用の場合

名義書換請求書を郵送するなど、名義書換に郵便をご利用になることもできます。詳しくは三菱UFJ信託銀行(株)にお問い合わせください。

●住所変更をするには？

株主総会招集ご通知、配当金領収証(旧郵便振替支払通知書)又は配当金計算書、株主優待商品等のご登録の住所あてにお送りさせていただいております。引越等により、ご住所に変更があった場合には、三菱UFJ信託銀行(株)又は野村證券(株)へ速やかに届出をお願いいたします。

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引の証券会社等で手続きをお取りください。

◎住所変更の手続き

①三菱UFJ信託銀行(株)又は野村證券(株)にお越しいただく場合

三菱UFJ信託銀行(株)の本店又は野村證券(株)の本店へ、お届出印をご持参ください。その場で変更届にご記入し、ご提出していただきますと、手続きをさせていただきます。手数料は不要です。

②郵便をご利用の場合

三菱UFJ信託銀行(株)にお電話いただきますと、変更届をお送りいたしますので、必要事項をご記入のうえ、ご返送ください。株券のご提出は不要です。ご返送の費用についてはご負担いただくこととなりますが、それ以外には手数料はいただきません。

●配当金の受取方法は？

①配当金のお受取方法の種類

配当金のお受取方法については、現金受取と口座振込がございます。**口座振込をご選択いただきますと安全かつ確実に配当金をお受け取りいただけます。**

現金受取をご選択の株主様には、配当金領収証(旧郵便振替支払通知書)をお送りいたしますので、お近くのゆうちょ銀行又は郵便局でお早めにお受け取りください。

口座振込をご選択の株主様には、あらかじめご指定いただいた銀行・ゆうちょ銀行等の口座に配当金が直接振り込まれます。また、期末(中間)配当金計算書もお送りいたします。

②現金受取から口座振込への変更

現在、現金受取を選択されており、これから金融機関等への口座振込を希望される株主様は、当社の株主名簿管理人であります三菱UFJ信託銀行(株)へご連絡ください。

●配当金関係の書類が届かない場合、又は配当金領収証(旧郵便振替支払通知書)を紛失した、あるいは払渡し期間を過ぎてしまった場合は？

上記の理由等により、配当金をお受け取りいただけなくなっている株主様は、当社の株主名簿管理人であります三菱UFJ信託銀行(株)へご連絡ください。

株式の諸手続きについてのお問い合わせ先は

当社株式の手続きにつきましては、下記、当社の株主名簿管理人であります三菱UFJ信託銀行(株)までお問い合わせください。また、同行本店及び全国各支店並びに野村證券(株)全国本店におきましても各種手続きのお取り次ぎをいたしますのでご利用ください。

なお、住所変更、配当金振込指定・変更に必要な各用紙及び株式の相続手続依頼書のご請求につきましては、フリーダイヤル(0120-244-479)で24時間承っておりますので、ご利用ください。

●お問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-232-711
(受付時間 土・日・祝日を除く 9:00~17:00)

郵便物送付先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081

東京都江東区東砂七丁目10番11号

各種手続用紙のご請求
フリーダイヤル 0120-244-479
(三菱UFJ信託銀行(株)24時間テレホン自動音声応答サービス)

■役員

取締役

取締役会長 涌井 洋治
代表取締役社長 木村 一衛
代表取締役副社長 小幡 一衛
代表取締役副社長 武田 宗高
代表取締役副社長 熊倉 一郎
代表取締役副社長 山田 良一
取締役 大久保憲朗
取締役 岩井 睦雄
取締役 小泉 光臣
取締役 新貝 康司
取締役相談役 本田 勝彦

監査役

常勤監査役 住川 雅明
常勤監査役 立石 久雄
監査役 村山 弘義
監査役 藤田 太寅

執行役員

社長 (企画・CSR・人事・監査担当)
副社長 (財務責任者 兼 コンプライアンス・食品事業担当)
副社長 (たばこ事業本部長 兼 特機事業担当)
副社長 (コミュニケーション・総務・法務担当)
専務執行役員 (法務責任者)
常務執行役員 (たばこ事業本部 副本部長)
常務執行役員 (たばこ事業本部 マーケティング&セールス責任者)
常務執行役員 (たばこ事業本部 製造統括部長)
常務執行役員 (たばこ事業本部 原料統括部長)
常務執行役員 (たばこ事業本部 渉外企画責任者)
常務執行役員 (医薬事業部長)
常務執行役員 (医薬事業部 医薬総合研究所長)
常務執行役員 (食品事業本部長)
常務執行役員 (人事責任者)
常務執行役員 (コミュニケーション責任者)
執行役員 (たばこ事業本部 研究開発統括部長)
執行役員 (たばこ事業本部 ブランド統括部長)
執行役員 (たばこ事業本部 製品開発統括部長)
執行役員 (たばこ事業本部 事業企画室長)
執行役員 (食品事業本部 飲料事業部長)
執行役員 (食品事業本部 食品事業部長)
執行役員 (企画責任者)
執行役員 (総務責任者)

木村 宏
小幡 一衛
武田 宗高
熊倉 一郎
山田 良一
下村 隆一
渡邊善治郎
小泉 光臣
飯島 謙二
久野 辰也
佐藤 誠記
大久保憲朗
石黒 繁夫
岩井 睦雄
村井 良行
志水 雅一
前島 宏敏
藤崎 義久
岩波 正
佐伯 明
塩澤 義介
日野三代春
古谷 貞雄
西野 和博

■株価の推移 1994年10月27日上場~2008年1月 当社株価(東証終値,月間)

